

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 えがお福島区店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		集団活動ができる広い部屋(1部屋)、個別トレーニング室ができる部屋(2部屋)を用意しています。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。保育士等福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		生活の流れに見通しがもてるよう、視覚支援や聴覚支援を取り入れています。	施設が2階にあるため、手すりの活用や職員の配置を行い安全対策を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			PDCAサイクルを心がけ話し合いが行える時間を確保していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表すると共に職員間でも結果を共有し、業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		HPでの公開をおこなっていく予定です。ご要望があれば、紙面でのお渡しも実施します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在は保護者様の評価と事業所内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施も検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		毎月様々な研修を行い、知識の向上を図っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、個別支援計画の参考にしています。	ガイドラインやヒアリングの内容をもとに計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		毎月のプログラム決めは全員で行い、個々で案を出し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		課題や活動の目的、その日のお子様の体調や機嫌に合わせてサポートを行っています。	一人ひとりの発達や状況に応じた課題設定となるよう、日々職員間で確認しながら行っていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		祝日はおでかけレクを計画するなどお子様が楽しめるイベントを考えています。	休日や長期休みは平日に取り組むことが難しい活動を行うなど内容を工夫していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		課題や活動の目的、その日のお子様の体調や機嫌に合わせてサポートを行っています。	一人ひとりの発達や状況に応じた課題設定となるよう、日々職員間で確認しながら行っていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼で、児童の様子や支援内容を共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		翌日の朝礼で支援内容の報告を行っています。	報告内容を踏まえ、次回の活動のステップアップや改善につなげていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		複数の視点からの支援について意見交換をし、次の支援につなげています。	
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		6か月に1度、個別支援計画の見直しをおこなっています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>			ガイドラインに基づき活動プログラムを立てていきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		開催される場合には、児童発達管理責任者や保育士等適任者を選んで出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者を通して情報共有をさせていただいております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			※対象児なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前に話し合いができる場をつくり、情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行先や保護者様の要望に応じて情報共有を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		事業所として交流活動等の実施はありませんが、今後連携を図ったり参加をしていきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	子ども部会がないです。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートや送迎時に日々の情報共有を行っています。必要に応じて個別の相談の時間も設けています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者の方と定期的に面談やお話を行っています。また職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるように研修に参加していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をさせていただいております。	不明な点は随時職員が説明をさせていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの相談は職員で共有し、適切な言動を心掛けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		交流が図れるよう、内容を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速かつ適切な行動に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		プログラムの詳細等は個別にラインや紙面等で配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		利用時に確認し、保管についても注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的に分かりやすくする等、伝わる方法をお子様や保護者様に合わせるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域の方と交流ができる場の提供を行っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員の話し合いの場で対応方法の確認を行ったり、プログラム表への記載を行い保護者様への周知・訓練に日々努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内で研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			対象児童がいる場合は個別支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者様から健康状態を把握し必要に応じて聞き取りを行っていきます。健康上の配慮注意点については職員が意識できるよう確認と周知を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録を残して職員が情報を共有できるようにしています。	